

令和4年度岐阜県私立大学地方創生推進事業 事業報告書

1 事業者

学校法人名	華陽学園
理事長名	杉山博文
学校名	岐阜女子大学
学校代表者名	松川禮子
学校所在地	岐阜市太郎丸80番地
担当者 役職・氏名	事務局次長・倉坪 弘一
電話番号	058-229-2211
メールアドレス	kuratubo@gjodai.ac.jp

2 事業分野（対象分野に○を記載。複数も可。）

<input checked="" type="radio"/>	地域貢献促進事業
<input type="radio"/>	大学生等の県内就職促進事業
<input type="radio"/>	地域人材の育成事業

3 事業名

デジタルアーカイブによる新たな価値創造推進事業

4 実施事業概要

<input checked="" type="radio"/>	新規	<input type="radio"/>	拡充	(該当する方に○を記載)
<p>○本学は、地域に貢献する大学として、地方創成イノベーションの実現と県内の地域の伝統・衣食住文化の保存並びに関係産業の振興、観光資源の発掘を目指している。</p> <p>○本学が学部並びに大学院に設置するデジタルアーカイブ専攻では、長年に亘り研究・蓄積した「地域資源デジタルアーカイブ」を効果的に活用する。新たな価値を創造するため、本学独自の「知的創造サイクル」を生かして地域課題を探求し、深化させ課題の本質を探り実践的な解決方法を導き出す人材養成を主な目的としている。</p> <p>○この専攻では、地域の課題を実践的な課題解決の方法を導き出す人材養成のため、後述する「知識循環型デジタルアーカイブ」の構築と、それを有効的に活用するための教材、教育方法について研究し、教授している。</p> <p>○具体的には、飛騨高山匠の技並びに郡上白山文化遺産について各地域と連携をして開発を進め、現在約15万件の地域資源のデジタルアーカイブとしての構築を進めている。</p>				

○また、本研究との関連が強いデジタルアーキビスト能力の養成カリキュラム並びに教材テキストを整備している。さらに、「地域資源デジタルアーカイブ」についても既に全国で約30万件（岐阜県15万件含む）の地域資料を収集して管理し、教育への利活用を進めている。

○本事業では、この「地域資源デジタルアーカイブ」の「飛騨高山匠の技」と「白山文化遺産」に新たな情報を40,000件以上追加し、「知的創造サイクル」を実現するための「知識循環型デジタルアーカイブ」による新たな価値の創造について調査・研究する。

5 実施事業内容

■実施事業の具体的な内容

<事業全体の概要>

○本学は、地域に貢献する大学として、地方創成イノベーションの実現と県内の地域の伝統・衣食住文化の保存並びに関係産業の振興、観光資源の発掘を目指している。

○本学が学部並びに大学院に設置するデジタルアーカイブ専攻では、長年に亘り研究・蓄積した「地域資源デジタルアーカイブ」を効果的に活用する。新たな価値を創造するため、本学独自の「知的創造サイクル」を生かして地域課題を探求し、深化させ課題の本質を探り実践的な解決方法を導き出す人材養成を主な目的としている。

○この専攻では、地域の課題を実践的な課題解決の方法を導き出す人材養成のため、後述する「知識循環型デジタルアーカイブ」の構築と、それを有効的に活用するための教材、教育方法について研究し、教授している。

○具体的には、飛騨高山匠の技並びに郡上白山文化遺産について各地域と連携をして開発を進め、現在約15万件の地域資源のデジタルアーカイブとしての構築を進めている。

○また、本研究との関連が強いデジタルアーキビスト能力の養成カリキュラム並びに教材テキストを整備している。さらに、「地域資源デジタルアーカイブ」についても既に全国で約30万件（岐阜県15万件含む）の地域資料を収集して管理し、教育への利活用を進めている。

○本事業では、この「地域資源デジタルアーカイブ」の「飛騨高山匠の技」と「白山文化遺産」に新たな情報を40,000件以上追加し、「知的創造サイクル」を実現するための「知識循環型デジタルアーカイブ」による新たな価値の創造について調査・研究する。

<令和4年度の計画内容>

○飛騨高山匠の技デジタルアーカイブ並びに郡上白山文化遺産のデジタルアーカイブを構築するために、伝統的な生活・文化の資料を広く収集し、デジタルアーカイブ化を進め、「知的創造サイクル」を構成し、地域資源デジタルアーカイブに必要な情報の推進を図る。

①飛騨高山匠の技デジタルアーカイブの構築

- ・コンテンツ数：新たに10,000点のデジタルアーカイブ構築

②郡上白山文化遺産デジタルアーカイブの構築

- ・コンテンツ数：新たに10,000点のデジタルアーカイブ構築

③上記2万件の地域資源データベースのオープンデータ化処理と、本学が収集したデータ（各地域約11万件）並びにそれらをまとめた資料集を各地域に配布する。

④デジタルアーカイブ講習会並びにデジタルアーカイブin岐阜により岐阜県内の希望する市町村職員などを対象にデジタルアーキビストを養成し、地域のデジタルアーカイブを推進する。

■事業実施による効果の分析・検証

<令和4年度の実施状況>

○地域資源デジタルアーカイブの整備

①飛騨高山匠の技デジタルアーカイブの構築

- ・96件の資料を追加し資料集を作成（新規：20,947点追加 合計100,113点）

②郡上白山文化遺産デジタルアーカイブの構築

- ・68件の資料を追加し資料集を作成（新規：12,004点追加 合計 84,029点）

③中部国際空港に①のアーカイブを活用しデジタルサイネージを設置（2箇所）

<分析・検証>

→飛騨高山匠の技デジタルアーカイブについては、令和4年度に20,947点の新規資料を追加し、全体で100,113点の資料を収集した。

→郡上白山文化遺産デジタルアーカイブについては、令和4年度に12,004点の新規資料を追加し、全体で84,029点の資料を収集した。

→これらの地域資源を教育に生かすために、これらのデジタルアーカイブを活用した高等学校におけるモデルカリキュラムを開発し、令和5年度より学校設定科目として「デジタルアーカイブ」という科目を全国初で設定し、デジタルアーキビストの養成を始めることになった。（岐阜県立郡上北高等学校）

→また、これらの地域資源デジタルアーカイブを活用した動画を作成し、中部国際空港の国内線並びに国際線（英文）にデジタルサイネージを設置し、県内の地域の伝統・衣食住文化の保存並びに関係産業の振興、観光資源の発掘を目指した。

○デジタルアーキビストの養成

- ①デジタルアーカイブin岐阜2022の実施(オンライン講座)
日 時：令和5年2月11日(土) 受講者：72名(県内20名)
- ②高校生のためのデジタルアーカイブクリエイター資格取得講座
第1期：令和4年 8月27日(土) 受講者：2名
第2期：令和4年12月17日(土) 受講者：43名
- ③高校生のための準デジタルアーキビスト資格取得講座
令和4年4月～7月 受講者：29名
- ④社会人のための準デジタルアーキビスト資格取得講座(e-Learning)
令和5年2月11日～2月26日 受講者：35名

<分析・検証>

→デジタルアーカイブを地域課題を解決するための手段として捉え、デジタルアーカイブという新たな価値を創造し、デジタルアーキビストという新たな雇用を創出することができる。
→デジタルアーカイブin岐阜2022を通じて、デジタルアーカイブの重要性を全国に発信し、デジタルアーキビストを養成することにより、新たな産業の創出による新たな雇用の創出に繋がる。
→高校生並びに社会人のデジタルアーキビストを養成することにより、DX時代における地域の探求により地域プライドの醸成に繋がる。
→デジタルアーカイブの利活用が新たな価値を創造し、地域活性化や教育の推進に有効との感触を得た。

○テキスト・資料集の整備

- ①デジタルアーキビスト概論(2023.2.11)
- ②飛騨高山匠の技デジタルアーカイブ資料集(下)
- ③飛騨高山匠の技デジタルアーカイブ資料集(左甚五郎遺産編)
- ④郡上白山文化遺産デジタルアーカイブ資料集(中)

<分析・検証>

→デジタルアーカイブに関する資料並びに講座の内容をe-Learningとしてオープンデータにし公開することにより、誰でも何時でも学習ができる環境を整備して、学習の高度化を図った。
→地域資源の資料集(冊子)並びに地域資料の原資料のデジタルデータは、各地域に提供し、各地域で活用できるように支援を継続する。

■今後の課題分析・改善策

○本研究における「知的創造サイクル」を生かして地域課題を探求し、深化させ課題の本質を探り実践的な解決方法を導き出す手法について他地域に適応することにより、デジタルアーカイブによる新たな価値の創造に繋がる事業となる。
→本事業で収集したデータを含み、各地域での地域資源デジタルアーカイブのデータをオープンデータ化し、データ一覧の資料集とともに各地区に提供する。
また、岐阜県内の市町村担当職員・高校生等を対象にデジタルアーカイブ講習会を通じて地域におけるデジタルアーキビストを養成する。

<課題分析・改善案>

→デジタルアーカイブin岐阜やデジタルアーカイブ講習会を通じて、デジタルアーカイブによる新たな価値の創造について具体的事例を挙げて説明することにより、地域の課題解決における地元自治体、地元企業、地域へデジタルアーカイブによる課題解決手法のフィードバックを行う。

■事業実施により生じた地域への影響

→各地域に住民主体の作成委員会を設置し、各地域で継続してデジタルアーカイブの構築ができるように、上級デジタルアーキビストの養成をし中核の人材を養成した。

→岐阜県立郡上北高等学校に全国で初めて学校設定科目「デジタルアーカイブ」を設置し、準デジタルアーキビストの養成と共に学校の特色化を図ることができた。今後、岐阜県内の多くの高等学校のモデルとして位置づける。

■今後の事業展開の予定

○飛騨高山匠の技デジタルアーカイブ並びに郡上白山文化遺産のデジタルアーカイブを構築するために、伝統的な生活・文化の資料を広く追加収集し、デジタルアーカイブ化を進め、「知的創造サイクル」を構成し、地域資源デジタルアーカイブに必要な情報の推進を図る。

①飛騨高山匠の技デジタルアーカイブの構築(拡充)

- ・ 伝統文化産業の技術の伝承のための記録
- ・ コンテンツ数：新たに10,000点のデジタルアーカイブ構築

②郡上白山文化遺産デジタルアーカイブの構築(拡充)

- ・ 白山文化遺産の県域(岐阜・石川・福井)を越えたデジタルアーカイブ
- ・ 白山文化遺産の世界遺産への登録支援
- ・ 失われていく地域の祭りや伝統行事の記録
- ・ コンテンツ数：新たに10,000点のデジタルアーカイブ構築

③岐阜市文化遺産デジタルアーカイブの構築のための調査(新規)

④沖縄文化遺産デジタルアーカイブの構築のための調査(新規)

○本事業で収集したデータを含み、各地域での地域資源デジタルアーカイブのデータをオープンデータ化し、データ一覧の資料集とともに各地区に提供する。また、岐阜県内の市町村担当職員・高校生等を対象にデジタルアーカイブ講習会を通じて地域におけるデジタルアーキビストを養成する。(拡充)

○デジタルアーカイブin岐阜やデジタルアーカイブ講習会を通じて、デジタルアーカイブによる新たな価値の創造について具体的事例を挙げて説明することにより、地域の課題解決における地元自治体、地元企業、地域へデジタルアーカイブによる課題解決手法のフィードバックを行う。(拡充)

○4 事業概要にて「拡充」に○をつけた場合、従来実施していた事業から拡充して実施した事業内容を記載してください。

【感染防止対策】

- 状況に応じ対面講習を避けオンライン講座に変更した。
- うがい・手洗い・アルコール消毒を励行し、検温等の体調管理を行う。
- 撮影時には手指の消毒を徹底する。
- 取材など人的交流が想定時は想定される場合は、簡易検査キットにより確認し、マスクを常時着用する。
- 取材等には3密を避けた対応を行う。

※事業実施の状況が分かる資料(写真、アンケート結果など)を添付してください。

6 事業目標の達成状況

○事業計画時に設定した事業目標に対する結果を記入してください。

○飛騨高山匠の技デジタルアーカイブ並びに郡上白山文化遺産のデジタルアーカイブを構築するために、伝統的な生活・文化の資料を広く収集し、デジタルアーカイブ化を進め、「知的創造サイクル」を構成し、地域資源デジタルアーカイブに必要な情報の推進を図る。

・令和4年度の計画内容(目標設定)

①飛騨高山匠の技デジタルアーカイブの構築

・コンテンツ数：新たに10,000点のデジタルアーカイブ構築

→ 96件の資料を追加し資料集を作成(新規：20,947点追加 合計100,113点)

②郡上白山文化遺産デジタルアーカイブの構築

・コンテンツ数：新たに10,000点のデジタルアーカイブ構築

→ 68件の資料を追加し資料集を作成(新規：12,004点追加 合計 84,029点)

③上記2万件の地域資源データベースのオープンデータ化処理と、本学が収集したデータ(各地域約11万件)並びにそれらをまとめた資料集を各地域に配布する。

①デジタルアーキビスト概論(2023.2.11)

②飛騨高山匠の技デジタルアーカイブ資料集(下)

③飛騨高山匠の技デジタルアーカイブ資料集(左甚五郎遺産編)

④郡上白山文化遺産デジタルアーカイブ資料集(中)

→ 上記テキスト並びに資料集を作成し、各地区への配布

④デジタルアーカイブ講習会並びにデジタルアーカイブin岐阜により岐阜県内の希望する市町村職員などを対象にデジタルアーキビストを養成し、地域のデジタルアーカイブを推進する。

①デジタルアーカイブin岐阜2022の実施(オンライン講座)

日時：令和5年2月11日(土) 受講者：72名(県内20名)

②高校生のためのデジタルアーカイブクリエイター資格取得講座

第1期：令和4年8月27日(土) 受講者：2名

第2期：令和4年12月17日(土) 受講者：43名

③高校生のための準デジタルアーキビスト資格取得講座

令和4年4月～7月 受講者：29名

④社会人のための準デジタルアーキビスト資格取得講座(e-Learning)

令和5年2月11日～2月26日 受講者：35名

→ 上記講座を開催し、多くのデジタルアーキビストを養成した。

※その他、参考となる資料がある場合は添付してください。